



学校運営協議会だより

令和7年8月29日(金)
国立市立国立第四小学校
校長 牧野 陽一郎

合言葉「夢いっぱい 感動いっぱい チャレンジいっぱい 国立第四小学校」

令和7年度 第3回学校運営協議会を開催しましたので、議事の概要を報告します。

開催日時 : 令和7年8月22日(金) 9:30~11:00
会場 : 国立第四小学校 第一会議室
出席者 : 緑川隆(会長) 日吉友里奈(副会長) 牧野陽一郎(校長) 榎本七重 立入秀子
関武彦 齋藤裕子 松ノ木由季
清原周栄(副校長) 柏木光晴(主幹教諭) 若月雅人(主幹教諭) 角田陽洋(主任教諭)
地域学校協働活動推進員: 日吉友里奈

《主な協議内容》

司会: 緑川隆(会長) 記録: 角田陽洋(本校CS推進委員)

- 学校評価報告書について
- 授業改善について
- 施設について
- 教員の任用と服務について

※以上協議内容について、学校運営協議会は承認しました。

《主な意見》

■ 学校評価報告書(挨拶)について

- ・学校や学級の雰囲気がよくなり、挨拶できる子が増えている気がする。挨拶の取組は、「代表委員会による校門での挨拶運動の実施」「発達段階に応じたあいさつの指針を提示」「定期的な振り返り(教室・校内・登下校にて)」である。
- ・校内のみならず、地域の中でできるようになってほしい。挨拶し返せるのは、10か0かのパターンが多い。挨拶励行運動は児童にとって大事だと思う。教員でも差があるのではないかな。挨拶を積極的にできる子、スルーする子、シャイな子がいる。いろいろな子がいる中で、挨拶すると気持ちよいということを実感してくれるとよい。

■ 授業改善について

- ・相手の意見を尊重して発言することは、日常の中でも大事である。世の中では「論破する」というのが流行っている。日常会話もそうになってしまうと、会話が成立しない。スムーズな日常会話のために、ぜひとも、相手の意見を尊重しながら自分の意見を伝えられる力を育てていただきたい。
- ・授業での問いの立て方についても、先生の力量が問われるんだろうと思う。子供たちから興味・関心・意欲が湧き出てくるのを待つ時間を大事にしてほしい。
- ・教材の工夫によっても、自らも問いを出せるようになるとよい。発想をもてる時間、子供によって差があるから、待つ時間も大事にしてほしい。もやもやする時間であろうが、自発的に出る時間を大事にし、自分で発見や気付くことが学ぶ楽しさに通ずるものであると思う。
- ・算数の問題、答えを求めるのではなく、いろいろな考え方を求める機会を大事にしてほしい。答えをすぐに出すのではなく、いろんな角度から考えられる経験を積めると良い。これらは、担任先生の力量にもよると思う。言葉にして伝えて分かりやすく伝えないと子供たちには伝わらない。

■ 施設について

- ・防犯の観点から、北側のフェンスの塞ぎ方がまちまちである。立ち木で塞がれているだけになっている。予算がかかることだがフェンスできちんと仕切りにすることをやってはどうか。

■ 教員の任用と服務について

- ・再来年度以降も人事異動を見通した人事配置(異動を伴う配置)を行ってほしい。
- ・教職員のメンタルケアは、どのようになっているのか→教員のメンタルケアは、教職員で支え合える学校風土を大切しているとともに東京都のメンター制度の活用やカウンセリングやヘルスチェックを行っている。日頃から一人で抱え込まない職場環境をつくっている。
- ・子供たちが安心して過ごせるために、校舎内のすべての場所について、2名以上が立ち会い、安全点検を行っている。管理職による校内外の巡視も日常的に行っている。



次回の学校運営協議会は、令和7年12月3日(水)9時30分より国立第四小学校で開催します。